

がん

重点項目10 がん予防対策

(1) スローガン

◇生活習慣の改善とがん検診の受診により、
がんからあなたの身を守りましょう

(2) 現 状

①がんの罹患、死亡の状況

- 平成17年の本県におけるがんによる死亡数は、5,890人(男性3,531人、女性2,359人)で死因の29.8%を占め第1位となっています。
- 年齢調整死亡率は、がん全体では減少傾向にありますが、部位別では、男性は、結腸がん、前立腺がんが増加、女性では、乳がんが増加しています。
- 部位別の死亡割合は、性別では、男性の第1位は肺がん、女性は胃がんとなっています。年代別では、男性は50歳代で胃がんが、それ以外の年代では肺がんが、がん死亡者のうち部位別割合で第1位となっています。女性では、30歳代から50歳代で乳がんが2割を占め第1位となっています。
- 部位別の年齢調整罹患率は、男女とも胃がんが減少していますが、結腸、直腸がんが増加しています。男性では、前立腺がんが増加しており、女性では、乳がんが増加、子宮がんは近年若年層で増加の傾向にあります。

②検診等の状況

- 平成17年のがん検診受診率は、平成12年と比べてあまり変化がなく、検診の重要性についての啓発や受診しやすい体制づくりが必要となっています。
なお、乳がん検診、子宮がん検診は30%台と低い状況ですが、平成16年度からこれらの検診は隔年検診となっているため、中間評価における子宮がん検診、乳がん検診の受診率については過小評価の可能性がります。
- がん検診精密検査の未受診者数は増加傾向にあり、また、精密検査結果を把握していない市町村が見られることから、すべての市町村において未検者の追跡及び受診勧奨が必要となっています。

(3) 目 標 値

項	目	ベースライン値	中間実績値	目 標 (H22)
がん検診受診率の向上	胃がん(40歳以上)	50.2% ¹⁾	45.7% ²⁾	70%以上
	肺がん(40歳以上)	61.0% ¹⁾	61.6% ²⁾	
	大腸がん(40歳以上)	41.3% ¹⁾	43.0% ²⁾	
	子宮がん(20歳以上)	37.3% ¹⁾	38.2% ²⁾	
	乳がん(40歳以上)	36.4% ¹⁾	37.0% ²⁾	
がん検診受診者数の増加	胃がん(40歳以上)	471,000人 ³⁾	—	928,000人以上
	肺がん(40歳以上)	273,000人 ³⁾	—	928,000人以上
	大腸がん(40歳以上)	362,000人 ³⁾	—	928,000人以上
	子宮がん(20歳以上)	150,000人 ³⁾	—	348,000人以上
	乳がん(40歳以上)	108,000人 ³⁾	—	248,000人以上

出典：1) 平成12年県民健康栄養調査 2) 平成17年県民健康調査 3) 平成16年国民生活基礎調査

(4) 取組の方向性

- 平成20年度から健康増進法に基づく事業（努力義務）として市町村が行うがん検診や職域等で実施するがん検診受診率の向上を図るために、検診の意義を含めた広報や個人通知の実施及び検診を受けやすい環境の整備を進めていきます。

- 市町村，検診機関，団体等と連携して，各種がん検診の精度管理調査の実施，生活習慣病検診従事者講習会等の医師，看護師，薬剤師，撮影技師等医療従事者の養成の支援により，質の高い検診体制の整備と人材の育成に努めます。
- すべての市町村において，がん精密検査の未検者の追跡及び受診勧奨などの未検者対策に取り組むとともに，かかりやすい年代にターゲットを絞った重点的ながん予防教育を実施するため，市町村への支援を行います。

項 目	推 進 内 容	推 進 主 体						
		県	市町村	教育機関	医療保険者	職域	医療機関等	関係団体等
がん予防及び検診に関する知識の普及	がんの予防及びがん検診の効果に関する正しい知識の普及 ・インターネット，広報誌，機関誌，マスメディア等の活用による情報提供 ・検診，健康教育，講演会，キャンペーン等の実施	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
検診受診勧奨	未受診者の把握と積極的な受診勧奨の実施		◎		◎		◎	
検診受診機会の拡大	医療機関での個別検診の実施や休日・夜間受診等の実施による，受診機会の拡大		◎		○	○	◎	
検診精度管理	検診の受診結果を把握することにより精度評価を行い，検診の精度向上を図る	◎	○		○		◎	○
がんの実態把握	がん登録事業の充実による，がん罹患及び予後の正確な実態把握	◎					○	○

* 推進主体（21ページ参照）：◎実施主体，○連携，協力，支援

目標値達成により期待される成果

生活習慣を改善し，「非喫煙率の増加」など各論での目標値を達成すること及びがん検診受診率を目標値の70%まで向上させることにより，がん死亡率は下記のとおり低減すると試算されます。（参考資料49，50ページ参照）

	項 目	現 状	目 標	死亡率の低減
生活習慣の改善	非喫煙率の増加 (男性)	50.0%	62%以上	4.5%
	(女性)	86.5%	92%以上	
	食塩摂取量の減少	11.2g	10g未満	
	野菜摂取量の増加	307.8 g	350g以上	
	肥満者の割合の減少 (30代以上男性)	36.3%	25%以下	3.0%
(40代以上女性)	34.5%	25%以下		
の 検 診 受 診 率 上 向	多量に飲酒する人の減少 (男性)	10.5%	7%以下	3.0%
	(女性)	0.9%	0.3%以下	
	胃がん (40歳以上)	45.7%	70%以上	8.2%
	肺がん (40歳以上)	61.6%	70%以上	
	大腸がん(40歳以上)	43.0%	70%以上	
子宮がん(20歳以上隔年)	38.2%	70%以上		
乳がん (40歳以上隔年)	37.0%	70%以上		



これらの目標値を全て達成することにより，がん死亡率は約16%低減すると期待されます。